



耐久 ~真健美~



平成28年度
和歌山県立耐久高等学校 全日制
Monthly Times November
マンスリータイムズ 11月号

◆ 2回旋跳び1509回 校内縄跳び大会

1日、49回目となる校内縄跳び大会が開催されました。個人、各学年クラスで、2回旋跳びの回数を競います。個人男子は3年岸部凌が1509回、女子は2年山下玄が500回、バドミントン部の両名は、前年度に出した自身の記録を更新して優勝しました。学年クラスでは、3年1組が平均111.3回第1位。全員が自分の力を出し切ろうと頑張る姿がとも印象的でした。



◆ バドミントン女子ダブルス、近畿3位入賞の快挙(57年ぶり)

11日～13日、近畿高等学校バドミントン選手権大会において、山下玄・松下羽衣(2年)が女子ダブルス第3位入賞を果たしました。昨年の和歌山国体の敗退をバネに頑張った結果、岩手国体での勝利、今大会の3位入賞と、大きく成長できたと思います。近畿3位入賞は和歌山県勢としては34年ぶり、和歌山県女子としては57年ぶりです。



◆ ソフトテニス部女子 創部以来初の県団体準優勝!

6日～7日、白浜町で行われた県高校新人大会において、ソフトテニス部女子が団体戦で準優勝し、滋賀県長浜市で開催される近畿高校選抜大会への出場を決めました。近畿選抜は全国高校選抜大会の予選も兼ねています。初の全国大会出場を目指して頑張ります。



◆ 空手道部、少人数でもがんばってます

県新人大会(那智勝浦町)において、1年奥田崇貴が個人形で優勝しました。決勝戦では、6月の県総体で敗れた相手と再戦し、雪辱を果たしました。現在、空手道部は選手4名・マネージャー2名と少人数ですが、マネージャーも補助員として新人大会運営に携わるなど、心ひとつにして頑張っています。



◆ 「世界津波の日」高校生サミット 事前スタディツアーin耐久高校(24日)

★16カ国127名の海外高校生と、600名の本校生徒が一体となって、スタディツアーのオープニングとなりました。英語での司会、歓迎スピーチ、基調発表、吹奏楽部の演奏や学校生活の紹介など、海外生徒に耐久高校の良さをアピール出来ました。海外代表生徒の挨拶では、全員を手や足を使ったパフォーマンスに誘い、体育館が大いに盛り上がりました。



★歓迎アセンブリー後、体験型の防災スクールを実施しました。本校有志生徒50名が、海外生徒に

帯同しての案内役と各コーナーに常駐しての説明役を担い、4種類の体験、「簡易トイレ作り」、「起震車体験」、「煙体験」、「消火訓練」を行いました。海外生徒にとって初めての体験が多かったようで、本校生徒の英語での説明に真剣に耳を傾けてくれ、大きなリアクションも見せてくれ、各コーナーとも盛り上がりました。楽しみながら防災を学べた2時間でした。



★午後から、「広村堤防」や「稲むらの火の館」で世界津波の日の制定の意義や濱口梧陵の功績、湯浅町重伝建地区で仕事の生活や産業(醤油)について、フィールドワークを行いました。約70名の本校生徒が各グループのエスコート役、地点での説明役をつとめました。四苦八苦しながら、英語で、懸命に伝えようとする耐久生、それに温かく応えてくれる海外高校生、とても良い雰囲気でした。英語がもっと使えるようになりたいと切実に感じたようです。



◆ 柔道女子 新人大会優勝

20日、県柔道新人大会において、1年山崎茉結が女子個人48Kg級で優勝しました。彼女の強みは粘り強さ。決勝戦はゴールデンスコア(延長戦)の接戦でしたが、最後まで勝ちに拘り、自分のスタイルを貫いて勝利しました。現在、柔道部員は彼女一人と、恵まれた練習環境ではありませんが、1月の近畿大会に向けて毎日頑張っています。



◆ 「HONTO」を通じて、先生と対話する契機に

全教員による読書エッセイを小誌『HONTO』にまとめ、全生徒に配布しました。高校生の読書離れが大きな課題となっていますが、生徒が本を手取るきっかけには、先生からの働き掛けも大事です。2年前から、各先生方に読書体験や生徒に薦める本についてのメッセージを書いてもらい、ポスターにして掲示してきました。図書館には『HONTO』コーナーを設置し、HPにはポスター版の全てを掲載しています。



12月の予定

- 5日(月) 一斉登校指導、3年センター受験講座開始
- 8日(木) 生徒総会
- 10日(土) 2年公務員模試
- 15日(木) 一斉登校指導
- 22日(木) 終業式、3年学年末考査発表、三者面談
- 26日(月)～ 三者面談
- 27日(火)



